

2024年度

学校関係者評価結果



学校法人 IGL学園

IGL医療福祉専門学校

委員評価	適切—4 ・ ほぼ適切—3 ・ やや不適切—2 ・ 不適切—1
------	---------------------------------

1) 教育理念・目標・育成人材像

項 目	自己評価	委員評価
1 理念・目的・育成人材像	4	4
2 教育の特色	4	4
(委員からの意見) ○ H P や S N S、パンフレット等で発信が行われており、教育理念や目的はわかり易く伝わっている。 ○ 教育理念である“隣人愛”を掲げ、H P 上で公表し、教育プログラムに織り込んでいる。 ○ アクティブラーニングを重視し、対人サービスを行う職業人としての人材育成を行っている。 ○ フリーマンデー制度の導入で、学生らしい時間の追求ができる取組は、自主性を高める機会となっている。 ○ 医療職を育成する学校施設なので、分煙ではなく、施設内完全禁煙が望ましいのではないか。		

2) 学校運営

項 目	自己評価	委員評価
1 運営方針	4	4
2 事業計画	4	4
3 運営組織	4	4
4 教職員の評価・育成	4	4
5 人事・給与制度	4	4
6 情報システム	4	4
(委員からの意見) ○ 学校があらゆる角度から現状を把握し、課題をみつけて具体的な対策に結び付けようと試みている姿勢が伺える。 ○ 卒業生（O B ・ O G）との情報交換が行えている。 ○ 教職員の自己研鑽について、法人として、更に時間・費用等の配慮を期待する。 ○ 学生に対応する教職員の育成や環境整備が大切と考える。 ○ 教職員の負担がやや多いように感じる。 ○ 10年もすると、コロナ禍における出生数の低下による、子どもの急減期が来るので、それに向けての対応や動きが必要になる。		

3) 教育活動

項 目	自己評価	委員評価
1 目標の設定	4	4
2 教育方法・評価等	4	4
3 成績評価・単位認定等	4	4

4 資格・免許取得の指導体制	4	4
5 キャリア教育等	4	4
(委員からの意見) ○ 学校教育の要となる教育活動は非常に充実していると思う。 ○ 年々の取組の成果が出ており、特段の大きな改革の必要は要らないと思う。 ○ 評価基準が明確で、学生の満足度も伺えるので良いと思う。 ○ 子どもの急減期に連動した目標設定・ビジョンを立てる必要がある。 ○ ディプロマポリシーの明示、アクティブラーニングの導入により、対人サービスに必要なコミュニケーション能力の向上を期待する。 ○ キャリア形成のための自己分析能力の向上と客観的評価のための認定資格等も一考の価値がある。		

4) 学修成果・教育成果

項 目	自己評価	委員評価
1 学修成果	3	3
2 就職率	4	4
3 資格・免許の取得率	4	4
4 社会的評価	3	4
(委員からの意見) ○ 社会保険・国民保険が今後も増大するので、学費負担に見合う職業にならねばならない。 ○ 就職率も100%で、社会的にも貢献していると思う。 ○ 国家試験の合格率に左右される評価と考える。 ○ 卒業生の活動をどこまで把握できるのか、その課題にも気づき、今後の取組に期待する。 ○ 卒業生（OB・OG）との情報交換に基づいた社会貢献活動の把握や卒業生のキャリア形成への加担も考えられる。		

5) 学生支援

項 目	自己評価	委員評価
1 修学支援	4	4
2 就職等進路	4	4
3 学生相談	4	4
4 学生生活	4	4
5 中途退学への対応	4	4
6 保証人（保護者）との連携	4	4
7 卒業生・社会人支援	4	4
(委員からの意見) ○ 学生の心のケア等の手厚い取組ができており、素晴らしい。分析等も行い、今後活かしてほしい。 ○ 学生一人一人に寄り添えるサポート体制はできていると感じる。		

- スクールカウンセラーの導入は手厚い学生支援であり、評価する。
- 卒業生（ＯＢ・ＯＧ）と在校生の情報交換によって、明確な目的意識やキャリアラダーへの意識を醸成できれば良い。
- 教員が様々な対応に追われ、疲弊することを懸念する。

6) 教育環境

項 目	自己評価	委員評価
1 施設・設備等	4	4
2 学外実習、インターンシップ等	3	3
3 防災・安全管理	4	4
(委員からの意見) ○ 特に問題なし。 ○ 学内の環境整備は行き届いている。		

7) 学生の受入れ募集

項 目	自己評価	委員評価
1 学生募集活動	4	4
2 入学選考	4	4
3 学納金	3	3
(委員からの意見) ○ 学生募集のＨＰやＳＮＳなど、積極的に取り組んでいる。奨学金の説明も分かり易くて良い。 ○ 学生との協働によるＳＮＳ等による情報発信ができています。 ○ オープンキャンパスの開催や各種ガイダンスへの参加など、積極的かつ適正に行われている。 ○ 大学進学率の高い高等学校では、教員が専門学校の説明をしていないのではないか。 ○ 学納金については、積極的な奨学金の活用とともに、企業と連携した学生育成支援の手立てを模索する価値はあると考える。		

8) 教育の内部質保証システム

項 目	自己評価	委員評価
1 関係法令、設置基準等の遵守（法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか）	4	4
2 個人情報保護（個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか）	4	4
3 学校評価（自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか）	4	4
4 改革・改善	4	4
5 教育情報の公開	4	4
(委員からの意見) ○ 「学校関係者評価委員会」等、外部からの意見を積極的に取り入れている。 ○ 特に問題ないと思う。		

9) 財務

項 目	自己評価	委員評価
1 財務基盤	3	3
2 予算・収支計画	4	4
3 監査	4	4
4 財務情報の公開	4	4
(委員からの意見) ○ 子どもの急減期に連動した目標設定・ビジョンを立てることが必要である。 ○ 超少子化で大学全入時代にあるも、定員いっぱいの学生数を期待する。 ○ 少子化の影響もあり、学生を集めるのが困難であることは企業の採用も同じである。 ○ 財務は学生募集と直結しているので、財源確保は学生募集の取組にかかっていると思う。 ○ 限られた予算の中での運用について、良く考えられている。		

10) 社会貢献・地域貢献

項 目	自己評価	委員評価
1 社会貢献・地域貢献	3	4
2 ボランティア活動	4	4
(委員からの意見) ○ 関係職域団体への学生会員入会による活動等への参画も積極的に行えるよう考えていきたい。 ○ 学生に対して、卒業後は職能団体として入会する義務等の周知を行ってほしい。 ○ 地域や外部に向けての積極的な社会貢献は素晴らしい。 ○ 地域にしっかり根付いていこうとしているのがわかる。 ○ 関連企業、団体との協働を積極的に行っている。		

11) 国際交流

項 目	自己評価	委員評価
1 留学生の受入れ・海外への留学	4	4
(委員からの意見) ○ コロナ禍も明け、留学できれば良いと思う。 ○ 引き続き、留学生の修学・生活環境の充実に努め、多くの留学生を迎え入れてほしい。 ○ 地域や企業との協働も模索していく必要があると考える。 ○ 多くの国からの留学生が在籍しており、また、介護福祉学科では多くの留学生を受け入れており、受入体制は整えられている。		